

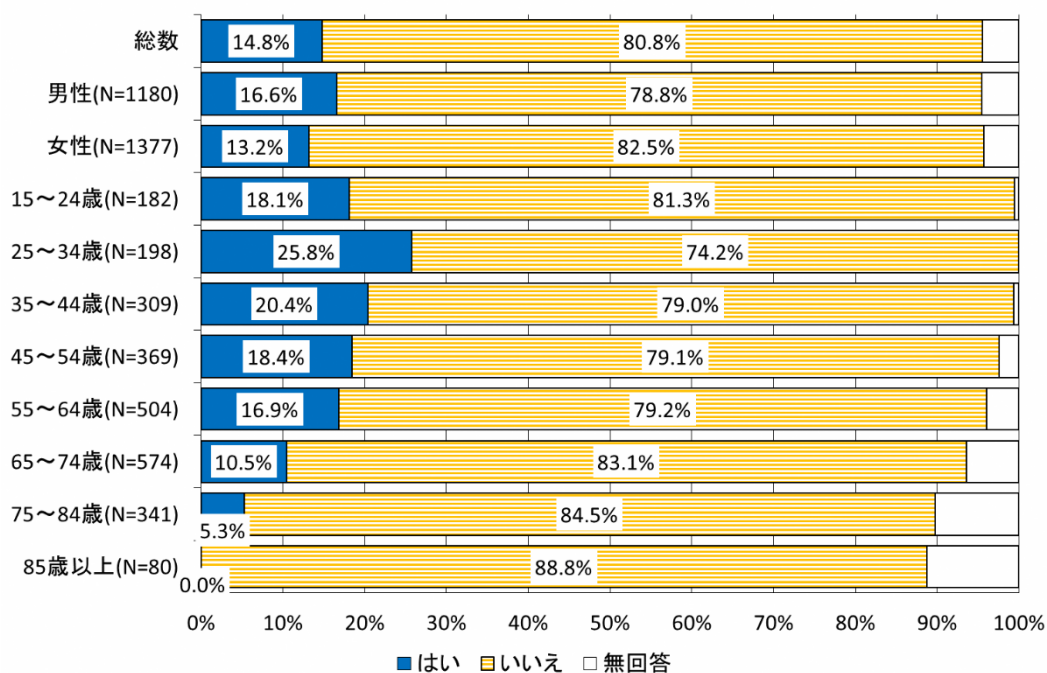
エ 歯や歯ぐきの状況

「歯を磨くと血が出る」、「歯ぐきが腫れてブヨブヨする」及び「冷たいものや熱いものが歯にしみる」についての自覚症状の有無を、それぞれ図表8～10に示す。

回答者全体では「歯を磨くと血が出る」が14.8%、「歯ぐきが腫れてブヨブヨする」が5.9%、「冷たいものや熱いものが歯にしみる」が21.3%となっている。

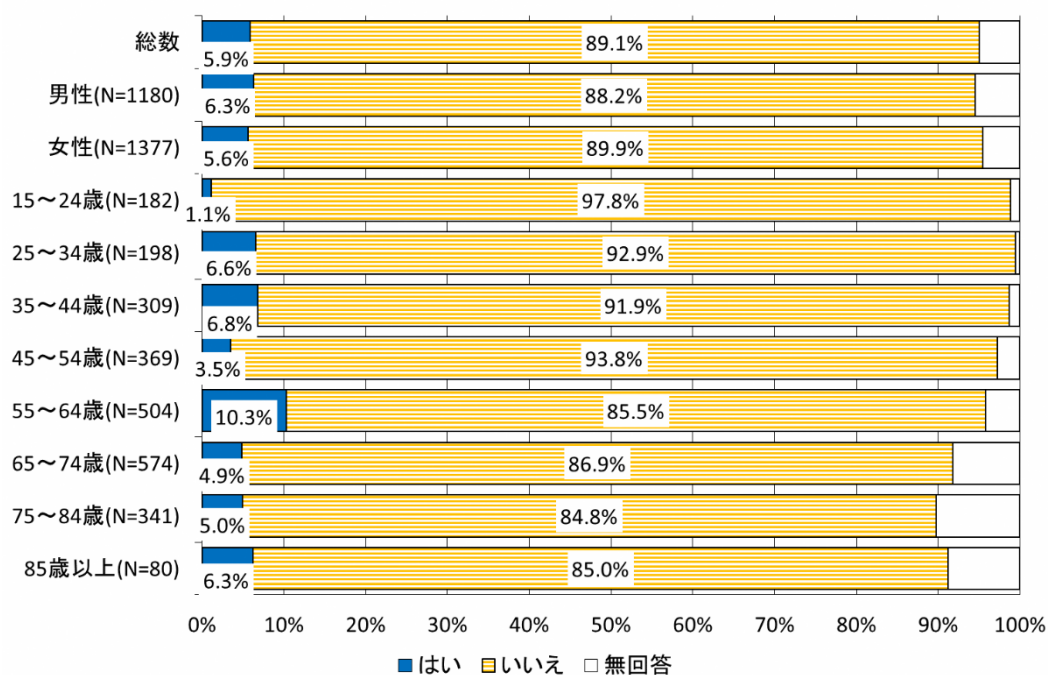
「歯を磨くと血が出る」者の割合について図表8に示す。性別にみると、男性が16.6%、女性が13.2%であり、男性のほうが3ポイント程度高い割合となっている。年齢階級別では「25～34歳」及び「35～44歳」が20%以上となっている。

図表 8 歯を磨くと血が出る×性別／年齢階級別



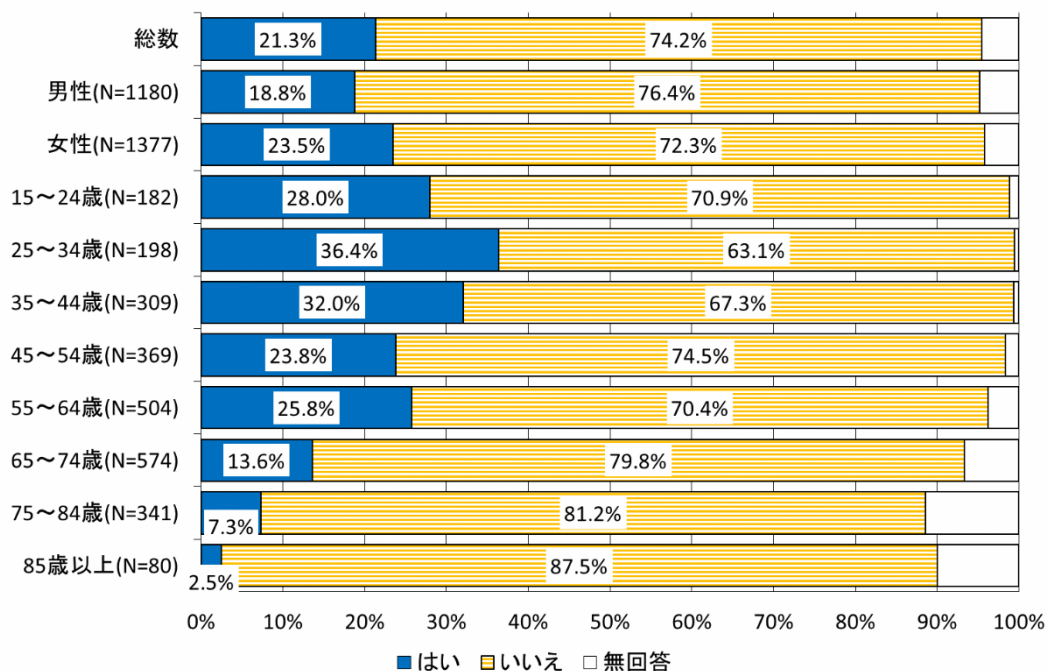
「歯ぐきが腫れてブヨブヨする」者の割合について図表9に示す。性別にみると、男性が6.3%、女性が5.6%であり、ほぼ同じ割合となっている。年齢階級別では「55～64歳」で10.3%と高くなっている。

図表9 歯ぐきが腫れてブヨブヨする×性別／年齢階級別



「冷たいものや熱いものが歯にしみる」者の割合について図表 10 に示す。性別にみると、男性が 18.8%、女性が 23.5%であり、女性が 5 ポイント程度高い割合となっている。年齢階級別では「25～34 歳」が 36.4%と最も多く、次いで「35～44 歳」が 32.0%と 3 割を超えている。

図表 10 冷たいものや熱いものが歯にしみる×性別／年齢階級別



なお、20 歳代における「歯肉に炎症所見を有する（「歯を磨くと血が出る」か「歯ぐきが腫れてブヨブヨする」のいずれか一方、または双方が該当する）」者の割合は、29.8%となっている（131 人中 39 人）。

才 咀嚼の状況

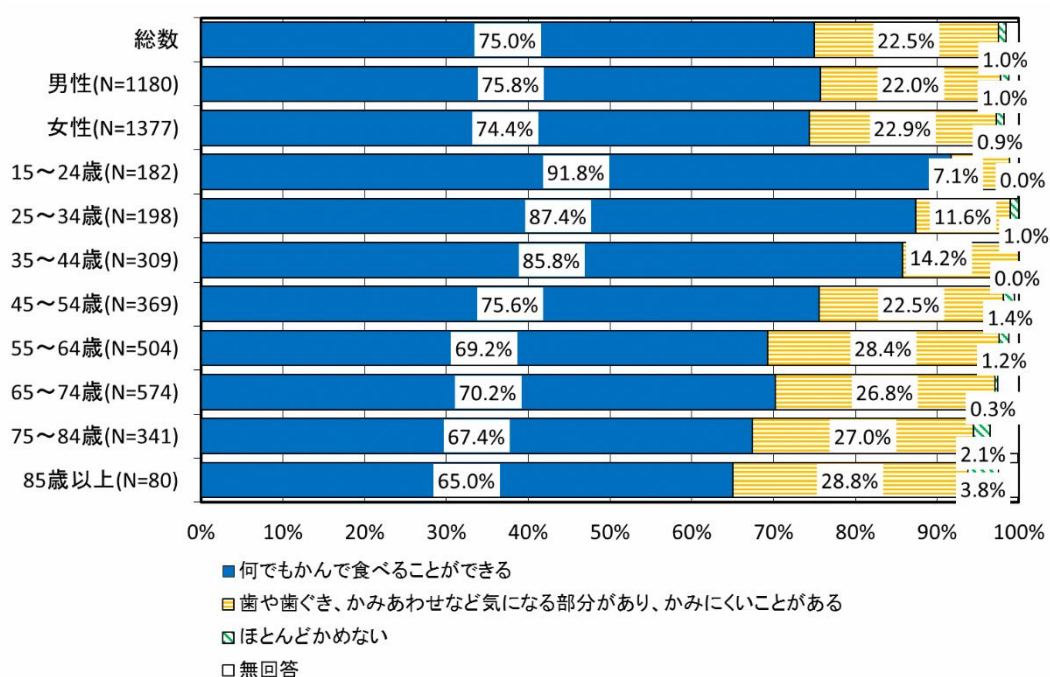
食事をかんで食べる時の状態について図表 11 に示す。回答者全体では「何でもかんで食べることができる」が 75.0%、「歯や歯ぐき、かみあわせなど気になる部分があり、かみにくいことがある」が 22.5%、「ほとんどかめない」が 1.0%となっている。

性別にみると、「何でもかんで食べることができる」は、男性 75.8%、女性 74.4%と、ほぼ同じ割合となっている。

年齢階級別にみると、「何でもかんで食べることができる」は、「15～24 歳」の 91.8%から「85 歳以上」の 65.0%まで、「55～64 歳」と「65～74 歳」で逆転しているものの、年齢階級が上がるにつれて低くなっている。

なお、60 歳代における「何でもかんで食べることができる」者（咀嚼良好者）の割合は、66.8%となっている（615 人中 411 人）。

図表 11 咀嚼の状況×性別／年齢階級別



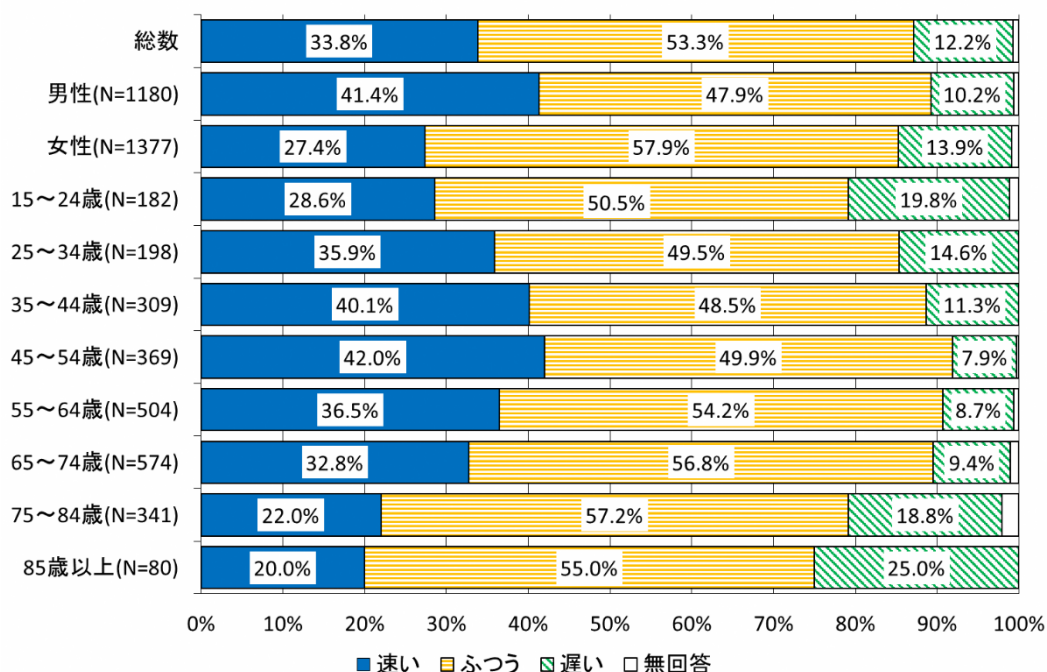
カ 食事の速度

食事のとき、人と比較した食べる速度について図表 12 に示す。回答者全体では「速い」が 33.8%、「ふつう」が 53.3%、「遅い」が 12.2%となっている。

性別にみると、「速い」は、男性 41.4%、女性 27.4%と、男性が 14 ポイント高くなっている。

年齢階級別にみると、「速い」は「45～54 歳」までは、年齢階級が上がるにつれて高くなり、それ以上では年齢階級が上がるにつれて低くなっている。

図表 12 食事の速度×性別／年齢階級別



キ 歯の本数

回答者に自己評価してもらった自分の歯の本数について図表 13 に示す。1 本単位で記入してもらった回答について、道及び国の目標値である「60 歳で 24 本以上」、「80 歳で 20 本以上」に鑑み、「24～32 本」、「20～23 本」、「10～19 本」、「1～9 本」、「0 本」の 5 つに分類して示す。

回答者全体では「24～32 本」が 58.5%と最も多く、次いで「10～19 本」が 13.6%、「1～9 本」が 9.4%となっている。

性別にみると、男女とも歯の本数の分布は、類似した構成比となっている。

年齢階級別にみると、「24 本～32 本」は、年齢階級が上がるにつれて減少し、「55～64 歳」では半数程度まで落ち込んでいる。反対に「0 本」は、「55～64 歳」では 3.8%であるが、「85 歳以上」では 45.0%まで増加している。

図表 13 歯の本数（自己評価）×性別／年齢階級別

